

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	青柳 憲昌

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
『建築家による「日本」のディテール—モダニズムによる伝統構法の解釈と再現』	単著	2023年9月	彰国社	青柳憲昌	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
「亀岡市旧城下町地区における浄土宗寺院仏堂の建築的特徴」村岡勇気・青柳憲昌、『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』2023年6月、pp.349-352	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	村岡勇気・青柳憲昌	
「亀岡市旧城下町地区における町会議所および鉾蔵の建築的特徴」北村奈都樹・青柳憲昌、『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年9月、pp.363-364(日本建築学会大会、京都大学)	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	北村奈都樹・青柳憲昌	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 今後の課題」2023年3月18日、第8回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合/第9回法隆寺金堂壁画保存活用委員会、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於：法隆寺聖徳会館	単独	2023年3月	第8回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合/第9回法隆寺金堂壁画保存活用委員会	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
日本テレビ「クイズ!あなたは小学5年生より賢いの?」法隆寺五重塔のクイズ監修、2023年3月24日放映	単独	日本テレビ	2023年3月
「姫路城の『ひねり掛け』——撫でる鏡が生みだす屋根の味わい」青柳憲昌、『建築士』2023年4月号、日本建築士会連合会発行、表紙見返し	単独	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年4月

「駿府城の『荒打ち』——厚い土壁の内部に残された『原始』」青柳憲昌、『建築士』2023年6月号、日本建築士会連合会発行、表紙見返し	単独	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年6月
「第二版あとがき」『日本近代の建築保存方法論——法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念 [第二刷]』青柳憲昌、中央公論美術出版、2023、pp.380-385	単独 +H28:K28	『日本近代の建築保存方法論——法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』中央公論美術出版	2023年6月
「平城宮の「手斧がけ」——製材と仕上げの密接な関係」青柳憲昌、『建築士』2023年7月号、日本建築士会連合会発行、表紙見返し	単独	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年7月
廣瀬家住宅主屋（京都府亀岡市）登録有形文化財（建造物）登録に関わる業務（登録年月日：2023年8月7日）	単独		2023年8月
「菅田庵の「荒壁仕舞い」」青柳憲昌、『建築士』2023年9月号、日本建築士会連合会発行、表紙見返し	単独	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年9月
「浅草寺のチタン瓦——屋根の「進化」が生みだしたRC造寺院の外観」青柳憲昌、『建築士』2023年12月号、日本建築士会連合会発行、表紙見返し	単独	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年12月

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「町家のリノベと『まちづくり』——西陣の町家改修を通して——」2023年9月8日、令和5年度 京のまちづくり史連続講座、於・京都市景観・まちづくりセンター	単独	2023年9月	令和5年度 京のまちづくり史連続講座	青柳憲昌

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	阿部 俊彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
都市とスポーツ	共著	2023年6月	晃洋書房	一般社団法人スポーツ都市協議会	
造景 2023「地球環境時代のまちづくりと琵琶湖圏域」・「湖と森をつなぐさざなみネットワークの提案」・「座談会／水辺の公園を持つ都市のあり方」「インタビュー／琵琶湖とまちをつなぐ長浜の次代のまちづくり」	共著	2023年9月	建築資料研究社	阿部俊彦、他	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
次の時代に向けた計画論・空間論・事業論(特集:新しいアーバンイズムによる現場とまちづくりの将来像)	単著	2023年5月	一般社団法人 住宅生産振興財団家とまちなみ(87)	阿部俊彦	
内湾地区の防潮堤×建築×ランドスケープによる復興デザイン(特集:都市空間の再構築と都市デザイン)	単著	2023年5月	新都市	阿部俊彦	
歴史的な港町における防潮堤整備計画を伴う防災まちづくりの協議手法の開発	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集17	阿部俊彦、他3名	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
駅を中心とした都市機能の配置を検討するためのワークショップ手法の開発 滋賀県南草津駅を中心とした都市機能誘導区域を対象として	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会(近畿) 学術講演梗概集(オーガナイズドセッション)	住田琴音(立命館大)・寶珍宏元・阿部俊彦
模型を用いた空間シミュレーションによる駅周辺公共空間の再整備を考えるワークショップの開発と報告—JR茨木駅を対象とした駅前周辺整備ワークショップその1—	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会(近畿) 学術講演梗概集	寶珍宏元(立命館大)・沼駿・阿部俊彦
模型の製作過程とワークショップ参加者の意識変化に関する考察 JR茨木駅を対象とした駅前周辺整備ワークショップその2	共著	2023年9月	2022年度日本建築学会大会(北海道) 学術講演梗概集	瀬沼駿(立命館大)・寶珍宏元・阿部俊彦

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
貴生川まちづくり活動支援業務委託	単独	甲賀市	
キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォークラブルなまちづくり   その他の補助金・助成金	単独	草津市	
JR 茨木駅西口周辺まちづくり社会実験		単独 茨木市	
びわこ文化公園都市における学生フレンドリー地域づくりに関する調査研究   受託研究		共同 滋賀県	
産官学連携によるオープンスペースの創造的利活用に向けた社会実験	共同	立命館大学	
老上学区まちづくり計画策定のためのまちづくりワークショップ	共同	草津市	
気仙沼市三八・庁舎跡地検討ワークショップ	共同	気仙沼市	
草津市 UDCBK 都市マネジメントスクール ワークショップ及び計画提案	共同	草津市	
流域治水時代のまちづくり国際学生国際ワークショップ	共同	亀岡市	
日本建築学会シャレットワークショップ@水口宿	共同	甲賀市	
守山駅東口再整備基本計画に係るワークショップ	共同	守山市	

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
HC 財団 住まいとコミュニティづくり活動セミナー 基調講演	共同	2023年12月	HC 財団	阿部俊彦
適塾路地奥サロン（第59回）講演	単独	2023年11月	アルバック	阿部俊彦
建築とまちづくりセミナー in 彦根）基調講演	共同	2023年10月	新建築家技術者集団 全国大会	阿部俊彦
造景 2023 出版記念シンポジウム『地球環境時代のまちづくりと琵琶湖圏域一湖を介してつながるローカルまちづくりとリージョナルデザイン』	共同	2023年9月	UDCBK	阿部俊彦、他
復興デザイン会議記念講演会（第4回）	共同	2023年7月	東京大学	阿部俊彦
早稲田都市計画フォーラム 30周年シンポジウム	共同	2023年7月	早稲田大学	阿部俊彦、他
甲賀市産業建設常任委員会	共同	2023年5月	甲賀市	阿部俊彦
国土交通大学校 専門課程 建築計画（企画・設計）研修 講師	単独	2023年12月	国土交通大学校	阿部俊彦

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
照明学会	照明施設賞	気仙沼内湾ウォーターフロント（魚町、南町、港町地区全体）	2023年

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部電子情報工学科	教授	泉 知論

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
設計手法の違いによるPWM制御モジュールの比較	共同	2023年9月	電子情報通信学会2023年ソサイエティ大会, A-6-2	竹中元弥, 泉知論
指数関数計算のFPGA高位合成向け記述法の検討	共同	2023年9月	電子情報通信学会2023年ソサイエティ大会, A-6-3	岡村泰誠, 泉知論

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	講師	伊藤 真一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
令和2年7月九州豪雨による地盤災害－鹿児島県での被災および復旧状況－	共著	2023年1月	地盤工学会災害調査論文報告集 1 (1)	酒匂 一成, 伊藤 真一, 本田 信孝	55-67
令和2年7月豪雨における九州南部地域の降雨の特性	単著	2023年1月	地盤工学会災害調査論文報告集 1 (1)	伊藤真一	1-12
草地型播種工の客観的な成績判定に向けた可視光画像解析技術の適用可能性の検討	共著	2023年3月	地盤工学ジャーナル 18 (1)	昌本拓也, 酒匂一成, 伊藤真一	81-95
文化財周辺の斜面災害復旧における植生回復過程に対する可視光画像解析による観測・評価システムの開発に向けた一考察	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	昌本拓也, 酒匂一成, 伊藤真一	77-84
Consideration of the methods determining a characteristics length of concept model using the new parameter Drmv for volcanic sandy soil	共著	2023年8月	Smart Geotechnics for Smart Societies	Ryosuke Nakajima, Kazunari Sako, Shinichi Ito, Ryosuke Kitamura	300-304
Comparison of soil water characteristic curves estimated using data assimilation and water retention tests	共著	2023年8月	Smart Geotechnics for Smart Societies	Shinichi Ito, Kazunari Sako, Tsukasa Morita	1157-1161
可視光画像解析と室内侵食実験による地表流に対する草本植生の法面保護効果に関する検討	共著	2023年11月	環境地盤工学シンポジウム発表論文集 15	昌本拓也, 岩永蓮太郎, 酒匂一成, 伊藤真一	390-396
可視光画像解析と室内侵食実験による草本植生の法面保護効果に関する検討－構成土粒子の粒径に対する一考察－	共著	2023年11月	Proceedings of the Kansai Geo-Symposium 2023 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	昌本拓也, 岩永蓮太郎, 酒匂一成, 伊藤真一	97-102
Physics-Informed Neural Networks による不飽和浸透特性パラメータの逆解析	共著	2023年11月	AI・データサイエンス論文集 4 (3)	福永竜世, 伊藤真一, 酒匂一成	100-108
Deep learning-based soil compaction monitoring: A proof-of-concept study	共著	2024年2月	Journal of Terramechanics 111	Shota Teramoto, Shinichi Ito, Taizo Kobayashi	65-72

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Physics-Informed Neural Networks を用いた一次元圧密問題の数値実験	単独	2023.7	第58回地盤工学研究発表会	伊藤真一
保水・透水試験の計測データに基づく不飽和浸透特性の事後分布推定	単独	2023.10	JCOSSAR 2023	伊藤真一

Application of Physics-Informed Neural Networks to geotechnical engineering	単独	2023.12	Future of Machine Learning in Geotechnics (FOMLIG)	Shinichi Ito
---	----	---------	--	--------------

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
データサイエンスによる豪雨時の斜面防災に関する研究	単独	2023.5	第1回 AI 応用研究会 AI 活用技術定期講演会	伊藤真一
地盤工学における AI の活用	共同	2023.8	福井地域地盤研究会	小林泰三・伊藤真一
データ同化の地盤工学への応用事例	単独	2023.9	防災・減災への AI・IoT 技術の利活用入門講習会	伊藤真一
データサイエンスによる豪雨時の斜面防災に関する研究	単独	2023.9	滋賀地盤講演会	伊藤真一

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月 (西暦可)
地盤工学会	第58回地盤工学研究発表会優秀発表賞		2023年9月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	大窪 健之

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
10. Surviving Disasters: Traditional Disaster-Resilient Designs in Japan	分担執筆	2023年	Taylor & Francis Managing Disaster Risks to Cultural Heritage: From Risk Preparedness to Recovery for Immovable Heritage	Takeyuki Okubo (Chapter Author), Bijan Rouhani and Xavier Romão (Editor)	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Simulating the Disaster Imagination Game (DIG) and Developing the Application in the Firuzaga Neighborhood, Istanbul - A Workshop with Local Volunteers	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	Tomoko Kano, Telat Aydın, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Meltem Vatan, Ebru Omay Polat, Ai Kubota, Zeynep Gü Ünal, Masayoshi Ito and Junichi Kawamura	61-68
社寺の拠点化によるマンション等在宅避難者への支援の可能性 ～京都市上京区を例として～	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	大窪健之, 松田明大, 金度源	105-112
日常利用を考慮した高機能型市民消火栓の評価と改良-デザインと使用方法に関するユーザー調査を通して-	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	金度源, 谷口有里香, 大窪健之	121-128
歴史的な仏教僧院における災害時の利活用 ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	サキヤラタ, 白野裕之, 田川龍, 大窪健之, 金度源	145-152
Securing evacuation route with historical backyard In Izushi, Japan	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	Takeyuki Okubo, Momoka Kawaguchi and Dowon Kim	
A Risk Assessment of Utility Poles Removal on Historical Townscape in Kyoto	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	Dowon Kim, Kazumasa Okamoto and Takeyuki Okubo	
隣接する町家の類焼可能性に関する研究 - 木造密集市街地における京町家の隣棟間隔に着目して -	共著	2023年12月	日本建築学会第18回住宅系研究報告会	竹内理登, 大窪健之, 金度源	



研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Designing a Mobile Application to Raise Children's Awareness of Disaster Management	共同	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告)、vol.17, pp.185-188	Ai Kubota, Tomoko Kano, Telat Aydın, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Junichi Kawamura, Meltem Vatan, Ebru Omay Polat, Masayoshi Ito
重要伝統的建造物群保存地区における防災計画の策定効果と課題 - 全国自治体への現況調査を通して -	共同	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告)、vol.17, pp.251-258	金度源, 山根雅也, <u>大窪健之</u>
伝統的な平入の町家群における類焼特性に関する研究	共同	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告)、vol.17, pp.259-266	遠藤裕太郎, <u>大窪健之</u> , 金度源

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
"Building Resilience for Urban Heritage in Time of Changes"	単独	2023年2月	3rd Training Workshop on DRM for Southeast Asian Cultural Heritage	<u>Takeyuki Okubo</u>
「地域コミュニティにおいて受け継がれるべき防災知識や教訓から考える防災活動」	単独	2023年3月	練馬区防災カレッジ事業	<u>大窪健之</u>
"Educational Approach to Disaster Risk Mitigation for Cultural Heritage- UNESCO Chair Program on Cultural Heritage and Risk Management"	単独	2023年4月	2023 International Forum on Disaster Risk Management for Cultural Heritage	<u>Takeyuki Okubo</u>
"Fire Mitigation Project around Kiyomizu-temple"	単独	2023年4月	Taipei South-West ROTARY CLUB	<u>Takeyuki Okubo</u>
"The International Training Course on Disaster Risk Management"	単独	2023年4月	7th Regional Meeting, ICOMOS Asia Pacific Regional Network	<u>Takeyuki Okubo</u>
"Research on Historical Courtyards Used for Evacuation Sites in Gorkha Earthquake 2015- at Patan old town World Heritage Site in Nepal"	単独	2023年5月	ICOMOS Panel Series "Expect Unexpected: Earthquake"	<u>Takeyuki Okubo</u>
"DRM & Climate Change Mitigation/ Adaptation"	単独	2023年5月	Training Course on Conservation of Built Heritage (CBH)	<u>Takeyuki Okubo</u>
「文化遺産の災害対策」	単独	2023年10月	JICA 課題別研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】	<u>大窪健之</u>
「路地と防災」	単独	2023年11月	令和5年度特別講演「京町家を未来へ 路地の可能性を考える」	<u>大窪健之</u>

知的財産権						
名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム	本学 共同者	その他	2020-070342			日本
消火用ノズル	本学 共同者	筆頭 発明者	2014-206815			日本

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	大場 修

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
付属屋と小屋の建築誌－もう一つの民家の系譜－	編著	2024年2月	鹿島出版会	大場 修	304
南越前町今庄宿伝統的建造物群保存地区修景デザインマニュアル	編著	2024年3月	南越前町教育委員会	大場 修	49
亀岡旧城下町地区－伝統的建造物群保存対策調査報告書－	編著	2024年3月	亀岡市	大場 修	333

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家と空地に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』Vol.17	木村智, 米田恵規, 清水優真, 大場修	99-104
京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためのケーススタディー	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』Vol.17	平尾和洋, 西岡里美, 大場修	113-120
亀岡駅南城下町地区の町並修景と防火力向上に向けた予備的考察	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』Vol.17	大場修, 平尾和洋, 藤木大真	245-250
民家の付属屋配置と規模に関する定量的考察－岩手・宮城・群馬・鳥取各県農家と併列型・二棟系の配置図を用いた分析－	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	平尾和洋, 大場修	149-152
民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察－1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析－	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	本田暁彦, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	153-156
亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	大場修, 藤木大真, 平尾和洋	250-253
京町家カルテ－カルテが再発見した京町家の多様な世界－	共著	2023年9月	『資料民家研究の新視点_2023大会PD資料』2023年度日本建築学会大会(近畿)建築歴史・意匠部門 パネルディスカッション(2)	三浦要一, 大場修, 平山育男, 中村琢巳, 大野敏, 中尾七重, 山田由香里	11-19
亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その1	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	宮澤楠子, 藤木大真, 大場修, 平尾和洋	1037-1038

亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その2	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	木村愛美，藤木大真，大場修，平尾和洋	1039-1040
民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察その1－1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析－	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	渡部祐輝，上田圭太郎，平尾和洋，大場修	29-30
民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察その2－1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析－	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	潮田龍諒，上田圭太郎，平尾和洋，大場修	31-32
和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の普及過程 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的考察 その8	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	吉川晴夫，松田法子，大場修	67-68
和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の発生と「コンクリート巻き」住宅 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的考察 その9	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	大場修，松田法子，吉川晴夫，京谷友也	68-69
和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の建設動機と実現の要因 紀伊半島の漁村・海付集落に関する 史的考察 その10	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	松田法子，吉川晴夫，大場修	70-71

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
京町家カルテ－カルテが再発見した京町家の多様な世界－	共同	2023年9月	『資料民家研究の新視点』2023年度日本建築学会大会（近畿）建築歴史・意匠部門 パネルディスカッション（2）	三浦要一，大場修，平山育男，中村琢巳，大野敏，中尾七重，山田由香里

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
日本の妻入民家と砺波地方のアズマダチ	単独	2023年8月	公益財団法人 砺波市花と緑と文化の財団となみ散居村ミュージアム・公開講座	大場 修
水害多発国・日本の伝統的民家と減災	共同	2023年10月	ITC2023 国際研修	大場 修
地域の歴史的建造物の特性把握とまちづくり	単独	2023年9月	兵庫県文化財建造物保存修理技術スキルアップ講習	大場 修
城下町龍野・姫路の町家と町並み	単独	2023年10月	2023年度播磨学特別講座「姫路の城下と播磨」	大場 修
江戸時代の庄屋住宅と〈おもてなし〉空間－重文・降井家書院と主屋の建築について－	単独	2023年11月	大阪府文化財活用プロジェクト Vol.4	大場 修
「町家構え」とは何か－京町家カルテ委員長が見た京町家－	単独	2024年2月	京都市景観・まちづくりセンター「京町家再生セミナー」	大場 修
今庄宿の町家と町並	単独	2024年3月	南越前町	大場 修

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	岡井 有佳

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
竹原重要伝統的建造物群保存地区における水害対策に関する研究	共著	2023年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	水野真希・岡井有佳・馬場美智子	85-90
木造密集市街地における消防活動に着目した無電柱化事業の減災効果に関する分析	共著	2023年10月	土木学会土木学会論文集 79 (10)	馬場美智子・岡井有佳・小原雅人	
集約型都市構造構築に向けた広域マスタープランの運用が立地適正化計画に与える効果と課題に関する研究	共著	2023年10月	日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	吉田隼斗・岡井有佳	616-623
エリアマネジメントの視点から見た公開空地の占用基準に関する研究	共著	2023年10月	日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	川野裕司・岡井有佳	1250-1257
公共施設等総合管理計画の改訂と公共施設再編にかかる各種瀬策の展開の関係	共著	2024年2月	日本建築学会日本建築学会技術報告集 30 (74)	瀬田史彦・上森貞行・岡井有佳・近藤早映・藤井秀明・吉村輝彦	399-403

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
都市機能誘導区域への誘導施設の立地に関する研究	共著	2023年7月	日本都市計画学会日本都市計画学会関西支部研究発表会	西川杏紗菜・岡井有佳・酒本恭聖
空き地条例による空き地の利活用の推進に関する研究	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	坂本賢矢・岡井有佳
空き家流通の活性化に向けた自治体の取り組みに関する研究	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	中西達也・岡井有佳
エリアマネジメントによる公開空地の利活用に関する研究	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	川野裕司・岡井有佳
遊休不動産の利活用によるリノベーションまちづくりに関する研究	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	分部颯太・岡井有佳
都市公園の機能再編手法に関する研究	共著	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	水野真希・岡井有佳

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり、パネルディスカッション	共同	2023年2月	第16回 CITE まちづくりシンポジウム	岡井有佳、ほか
フランスの都市計画	単独	2023年9月	JICA 横浜	岡井有佳

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
歴史都市における道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集、Vol.17	小川圭一、溝口万里江	137-144
観光資源としての文化遺産の評価における交通時間価値の評価方法の影響に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集、Vol.17	小川圭一、森祐輔	153-160
交差点構造と交通事故発生状況に対する道路形成順序の影響に関する研究	共著	2023年8月	第43回交通工学研究発表会論文集	小川圭一、溝口万里江	41-47

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史都市における道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	共同	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一、溝口万里江
観光資源としての文化遺産の評価における交通時間価値の評価方法の影響に関する研究	共同	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一、森祐輔
交差点構造と交通事故発生状況に対する道路形成順序の影響に関する研究	共同	2023年8月	第43回交通工学研究発表会	小川圭一、溝口万里江
交差点の道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	共同	2023年9月	土木学会第78回年次学術講演会	小川圭一、溝口万里江
交差点の道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	共同	2023年12月	交通科学研究会令和5年度研究発表会	小川圭一、溝口万里江

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日		
所属	職名	氏名	
政策科学部政策科学科	教授	鐘ヶ江 秀彦	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
「新型コロナウイルスのパンデミック前の21世紀初頭のシミュレーション&ゲーミング学会の国際展開についてのDebriefing」	単著	2024年3月	公益財団法人 科学技術融合振興財団30周年記念論文集	鐘ヶ江秀彦	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「国際シミュレーション&ゲーミング学会世界大会の2027年の日本開催に向けての1991年・2003年・2015年開催の備忘録」	共著	2023年11月	2023年度日本シミュレーション&ゲーミング学会秋期全国大会論文報告集秋号、江戸川大学	

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
国際地域学会環太平洋地域学機構サマースティチュート 基調講演2「Urban & Regional Planning for Society 5.0」		2023年6月	PRSCO Summer Institute 2023	
「JAPAN'S REAL ESTATE POLICY: INDUSTRY, PUBLIC SECTOR AND ACADEMIA/SCIENCE」講演		2023年8月	Thai Real Estate Association	
2023年度日本シミュレーション&ゲーミング学会秋期全国大会シンポジウム「JASAGにとってのISAGA2027招致を考える」・パネリスト		2023年11月	2023年度日本シミュレーション&ゲーミング学会秋期全国大会、江戸川大学	

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
特定非営利法人 日本シミュレーション&ゲーミング学会	日本シミュレーション&ゲーミング学会賞		2023年11月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	川崎 佑磨

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Evaluation of the fracture behaviour of concrete prisms reinforced with regular and high-strength steel rebars using acoustic emission technique		2023年	Construction and Building Materials 402 (26)	Krishnaa. S, Chetharaju palli Veendar, Su riya Prakash. S, Yuma Kawasaki	
Fracture Analysis of Short-Scale Corroded/Healthy Reinforced Concrete Beams under Bending Using Acoustic Emission		2023年	Materials 16 (21)	Mouhamadou Mountakhah Seye, Yuma Kawasaki, Eja zulhaq Rahimi	
電気化学ノイズ法によるコンクリート中の各種鋼材の腐食進展把握		2023年3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨	
空練りによるフロック形成が高強度コンクリートのスランプフローに与える影響		2023年7月	コンクリート工学年次論文集 45 (1)	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	826-831
再振動締固めの最適な時期に関する AE 法に基づいた圧縮破壊メカニズムの考察		2023年7月	コンクリート工学年次論文集 45 (1)	吉岡優志郎, 川崎佑磨, 山田悠二, 清水駿太郎	352-357
実橋梁に設置した小型 IoT センサで検出した画像とひずみによる構造ヘルスマニタリング		2023年9月	土木学会論文集特集号 (地震工学) 79 (13)	川崎佑磨, 井上和真, 大川原大智, 小西優真, 山元沙貴, 木暮悠暁, 浅見健斗	



## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	河角 直美

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
京都食堂探究	共著	2023年11月	筑摩書房	加藤政洋・〈味覚地図〉研究会	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
南大東島の企業城下町「在所」の景観復原	共著	2023年3月	環太平洋文明研究(7)	河角直美・加藤政洋	34-49
戦後沖縄における「スクラップ・ブーム」とその影響：人的被害のひろがりに着目して	共著	2023年6月	立命館文學(684)	加藤政洋・前田一馬・河角直美・常本亮太	55-76

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「歴史地理研究における写真資料の活用」	共同	2023年2月	人文地理学会第143回 地理思想部会・第161回 歴史地理研究部会(於：佛教大学宗教文化ミュージアム)	加藤政洋・河角直美
「那覇市の観光商店街「国際通り」の成立とその特色—1960年代の店舗変化に着目して—」	共同	2023年11月	2023年人文地理学会大会(於：法政大学)	河角直美・加藤政洋・宇佐美智也・常本亮太・宮原佑成・前田一馬

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	神田 孝治

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
観光が世界をつくる—メディア・身体・リアリティの観光社会学	共編者（共編著者）	2023年7月	明石書店	須藤廣・遠藤英樹・山口誠・松本健太郎・神田孝治・高岡文章 編（担当：神田孝治『『めがね』を通して旅を見る—「自由」と「たそがれる」にピントを合わせて』）	
移動時代のツーリズム—動きゆく観光学	共編者（共編著者）	2023年12月	ナカニシヤ出版	神田孝治・遠藤英樹・高岡文章・鈴木涼太郎・松本健太郎 編（担当：神田孝治序「『移動時代のツーリズム』とは—「動きゆく観光学」の姿とその探究」、1章「観光客のまなざし—インターネットが関与する動的な観光地」、2章「テクノロジー—モバイル・テクノロジーと変わりゆく観光の姿」、【コラム19】「移動とダークツーリズム」、【コラム20】「COVID-19への感染リスクと観光移動」、「あとがき」）	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
観光学3.0の探究に向けて—ツーリズム・モビリティーズの再考を通じた展望	単著	2023年3月	観光学術学会観光学評論 11（1）		73-87

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
観光学3.0を探究する—ジョン・アーリによる研究の考察を通じて	単独	2023年3月	立命館大学・南オーストラリア大学 研究教育交流協定カンファレンス「モビリティーズとデジタル革命の新たな社会理論」	

観光学 3.0 とアッセンブリッジというレンズ	単独	2023年7月	観光学術学会第12回大会 テーマセッション① 観光学 3.0 へ向けて—ツーリズム・モ ビリティの再考から	神田孝治
-------------------------	----	---------	--	------

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
大規模イベントと地域のイメージ—沖 縄国際海洋博覧会を事例として	単独	2023年5月	いずみ市民大学 教養学部「祭 りとイベントの地域観光学」	
大規模イベントとモバイル・テクノロ ジー—位置情報ゲームアプリを用いたイ ベントを事例として	単独	2023年5月	いずみ市民大学 教養学部「祭 りとイベントの地域観光学」	

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	金 度源

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management INTERNATIONAL TRAINING COURSE (ITC) on DISASTER RISK MANAGEMENT of CULTURAL HERITAGE, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM 2022, 16th year ONLINE	共編者（共編著者）	2023年2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Shakya Lata, <u>Dowon Kim</u> , Rohit Jigyasa	
Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage Practices of ITC Participants	共編者（共編著者）	2023年6月	Routledge	Rohit Jigyasa, <u>Dowon Kim</u> , Lata Shakya	
記録遺産の防災に関する専門家会議の参加報告	単著	2023年6月	ICOMOS JAPAN インフォメーション誌 12 (6)		27-28

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Study for Improvement of Evacuation Safety of Cul-de-sacs Roads in Historic Streets - A Study on the Installation of Emergency Evacuation Doors in Kamigyo-ward, Kyoto Japan -	共著	2023年5月	XXI International Forum 'Le Vie dei Mercanti' WORLD HERITAGE and DWELLING ON EARTH	Takeyuki Okubo, Yuki Nagasawa, <u>Dowon Kim</u>	228-238
伝統的な平入の町家群における類焼特性に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	遠藤裕太郎、大窪健之、 <u>金度源</u>	259-266
重要伝統的建造物群保存地区における防災計画の策定効果と課題：全国自治体への現況調査を通して	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	<u>金度源</u> 、山根雅也、大窪健之	251-258
社寺の拠点化によるマンション等在宅避難者への支援の可能性：京都市上京区を例として	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	大窪健之、松田明大、 <u>金度源</u>	105-112
日常利用を考慮した高機能型市民消火栓の評価と改良：デザインと使用方法に関するユーザー調査を通して	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所 17	<u>金度源</u> 、谷口有里香、大窪健之	121-128
歴史的な仏教僧院における災害時の利活用：ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	サキヤラタ、白野裕之、田川龍、大窪健之、 <u>金度源</u>	145-152
三重県多気郡大台町における生物圏保存地域内の自然資源利用を目標とする観光まちづくりの現状評価	共著	2023年9月	公益社団法人 日本都市計画学会都市計画報告集 22 (2)	篠岡果、 <u>金度源</u> 、大窪健之	392-339

A Risk Assessment of Utility Poles Removal on Historical Townscape in Kyoto	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	<u>Dowon Kim</u> , Kazumasa Okamoto and Takeyuki Okubo	
Securing evacuation route with historical backyard In Izushi, Japan	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	Takeyuki Okubo, Momoka Kawaguchi and Dowon Kim	
コミュニティ形成に資する市民活動団体構成員の活動タイプと公園に求める要素の関連性－草津川跡地公園での市民活動促進に関するヒアリング調査－	共著	2023年10月	公益社団法人 日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	松原実咲、 <u>金度源</u> 、大窪健之	592-599
祭りの行程への参加と地域愛着・世代間交流との関係性－岐阜県飛騨市古川町の古川祭を対象として－	共著	2023年10月	公益社団法人 日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	森島明日香、 <u>金度源</u> 、大窪健之	632-639

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
ふらっと in パーク社会実験	共同	びわ湖文化公園	2023年10月
びわ湖文化公園における防災キャンプ社会実験	共同	びわ湖文化公園	2023年10月～ 2023年11月
京都市伏見区深草総合防災訓練指導	単独	京都市深草中学校	2023年11月

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
地域に育ち、地域に学び、地域を育てる地域デザイン（コミュニティデザイン）の実践	単独	2023年4月	my turn open day	<u>金度源</u>
The Community Design to The Areal Management	単独	2023年8月	国土研究院定例研究会	<u>Dowon Kim</u>
Integrated Disaster Risk Management for Cultural Heritage	単独	2023年10月	WORKSHOP FOR CULTURAL HERITAGE PROTECTION IN THE REPUBLIC OF INDONESIA "Disaster Risk Management for Cultural Heritage"	<u>Dowon Kim</u>
建築遺産の活用と地域再生	単独	2023年10月	韓国伝統文化大学未来文化遺産大学院	<u>金度源</u>
Disaster Management and Resilience: Learning from Japanese Cities	単独	2023年11月	The International Joint Class	<u>Dowon Kim</u>

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
内閣府	防災功労者内閣総理大臣表彰受賞	先斗町まちづくり協議会	2023年9月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	講師	木村 智

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
ピエル・ルイジ・ネルヴィによる帝国のアーチにおける構法的検討	単著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	木村智	381-383
徳島県鳴門市大道銀天街における低未利用地活用に向けたヒアリング調査と店舗の変遷分析	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	澤愉太・前川真穂・木村智	229-232
亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家に関する研究	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	清水優真・米田恵規・木村智・大場修	177-180
亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家と空地に関する研究	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集 Vol.17』	木村智・米田恵規・清水優真・大場修	99-104

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
ピエル・ルイジ・ネルヴィの帝国のアーチにおける古代ローマ建築解釈と構法的表現	単独	2023年4月	建築史学会大会研究発表会	木村智
ピエル・ルイジ・ネルヴィによる帝国のアーチにおける構法的検討	単独	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	木村智
ローマ万国博覧会の帝国のアーチにおけるリバース・エンジニアリング	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演会	木村智・木村俊明・小見山陽介
同時代出版物に描写されたクリスタル・パレスの特性とその伝搬	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演会	小見山陽介・木村俊明・木村智
クリスタル・パレスのリバース・エンジニアリング 平行弦トラスと短手骨組の分析	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演会	岡本日向・木村俊明・小見山陽介・木村智
徳島県鳴門市大道銀天街における低未利用地活用に向けた変遷分析と提案	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演会	村井瑞季・木村智・前川真穂・澤愉太
亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家と空地に関する研究	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演会	清水優真・米田恵規・木村智・大場修

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
南草津にふさわしいウォークアブルな街路空間と巡礼ルートの作成（玉川学区まち歩きワークショップ 第1回・第2回）	共同	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）	2023/5～2024/3

ブルネレスキ的建築家について ブルネレスキ的建築家教育を考えるーボローニャ大学での設計教育と職能形成 (その1～その3)	単独	建築討論 web	2023/02/04/06
--	----	----------	---------------

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Tanimoto chair designed in Japan by Vico Magistretti	単独	2023年10月	Vico Magistretti.Tra Milano e il mondo (in Triennale Milano)	Satoru KIMURA

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小林 泰三

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
アクティブ音響センシングを用いた土質 判別技術の概念実証	共同	2023年7月	第58回地盤工学研究発表会(地 盤工学会)	近藤一秀・濱荻晋太郎・小林 泰三

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
建設分野のデジタル革命～ i-ConstructionからインフラDXへ～	単独	2023年11月	関西砕石フォーラム	小林泰三
AIで土質特性に迫る～地盤工学におけ るAIの活用に向けて～	単独	2023年8月	地盤工学会関西支部福井地域地 盤研究会	小林泰三



## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	教授	桜井 政成

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
サードプレイスの有無が孤独感・生活満足に与える影響	単独	2023年7月	第21回福祉社会学会大会	桜井 政成

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	里深 好文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
透過性を有するブロック積砂防堰堤の捕捉機能に関する基礎的な研究	共著	2023年7月	砂防学会誌 76（2）	原田紹臣・藤本将光・中村達也・里深好文・水山高久	11-18
デジタル技術（DX）活用による効率的な砂防関係施設の維持管理に求められる評価手法拡充の提案	共著	2023年7月	砂防学会誌 76（3）	原田紹臣・藤本将光・里深好文・水山高久・松井保	34-41
土石流・洪水流複合氾濫時の避難目的地までの移動安全性に関する検証	共著	2023年10月	自然災害科学 42（特別）	和田孝志・丸堂真輝・廣地星大・三輪浩・里深好文	121-138

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益社団法人 土木学会 関西支部	2022年度土木学会関西支部技術賞	列車運行の安全確保のための溪流危険度評価に関する技術開発	2023年3月
公益社団法人 土木学会 構造工学小委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会	デジタルツイン奨励賞	メタバースを活用したハザード・マップの高度化に向けた実践的取り組み～iHazard map project～	2023年6月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	高橋 学

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
歴史時代における地形環境の変化と土地開発	単独	2023年3月	環太平洋文明研究7	環太平洋文明研究センター	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
次は首都圏巨大地震のリアル	単独	フライデー	2024年1月26日
能登大地震の生と死	単独	週刊新潮	2024年1月18日
次は東京、南海トラフ	単独	女性セブン	2024年1月18日・25日合併号
大阪万博で災害発生	単独	日刊ゲンダイ	2024年1月12日
能登半島地震甘かった事前評価	単独	夕刊フジ	2024年1月12日
近づいているのか南海トラフ巨大地震	単独	日刊ゲンダイ	2024年1月5日
M7級地震要警戒地域	単独	夕刊フジ	2024年1月5日
次の巨大地震は首都圏で起きる	単独	フライデー	2023年5月26日
首都直下の前兆の恐れ	単独	日刊ゲンダイ	2023年5月25日
富士山噴火不気味リスク	単独	夕刊フジ	2023年5月24日
M7級巨大地震大阪万博直撃も	単独	日刊ゲンダイ	2023年5月13日
東京23区直下嚴重警戒	単独	夕刊フジ	2023年5月12日
能登半島群発地震いつ終わるのか	単独	日刊ゲンダイ	2023年5月8日
南海トラフなど太平洋岸に連動	単独	夕刊フジ	2023年5月7日
大規模停電のリスク	単独	夕刊フジ	2023年4月21日
トルコ東南部地震甚大被害の理由	単独	フライデー	2023年2月24日
後発地震には異次元の対策必要	単独	夕刊フジ	2023年1月15日
海洋生物の異変は大地震の前触れなのか	単独	日刊ゲンダイ	2023年1月18日

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	寺床 幸雄

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
農村における社会的結びつき	分担執筆	2023年1月	『地理学事典』丸善出版	日本地理学会編	322-323

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	准教授	豊田 祐輔

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
The evolution of disaster education in Japan. In “The Handbook of Disaster Studies in Japan”	単著	2024年	MHM Limited, Tokyo	Author: Toyoda Yusuke, Cavaliere P., Otani J. [Eds.]	forthcoming

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Extracting Local Disaster Knowledge through Gamification in a Flood Management Model Community in Thailand	共著	2023年12月	Elsevier, Progress in Disaster Science (Elsevier) 20	Toyoda Yusuke and Tanwattana Puntita	100294

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Grasping Flood Risk Management Knowledge by Gaming Simulation	共同	2023年2月	“Proceedings of NERPS (Network for Education and Research on Peace and Sustainability) Conference 2023”	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita
Local Knowledge Extraction Games for Resilience	単独	2023年2月	Webinar II Series	Toyoda Yusuke
Gaming Simulation as a Tool for Disaster Risk Reduction and Disaster Education	単独	2023年11月	International Symposium on Emergency Management 2023 (ISEM 23)	Toyoda Yusuke
国際シミュレーション&ゲーミング学会世界大会の2027年の日本開催に向けての1991年・2003年・2015年開催の備忘録	共同	2023年11月	『日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集2023年秋号』44-45頁	鐘ヶ江秀彦*、豊田祐輔

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Gaming Simulation as Extracting and Sharing Disaster Knowledge Tool	共同	2023年2月	“Gaming Simulation as Extracting and Sharing Disaster Knowledge Tool” for DDPM (Department of Disaster Prevention and Mitigation, Ministry of Interior of Thailand) staff	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
‘Earthquakes and Tsunamis and Disaster Management in Japan (20230203)’, ‘Gaming Simulation for Urban Resilience (20230210)’ and ‘Urban Resilience in Japan (20230224)’	単独	2023年2月	“Seminar in Urban Security and Resilience” (course provided for graduate students of the Faculty of Architecture at Chulalongkorn University)”	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
Gaming Simulation as Extracting and Sharing Disaster Knowledge Tool	共同	2023年2月	“Advanced Theories in Sustainability (course provided for doctoral students of the Faculty of Global Studies at Thammasat University)”	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
防災ゲーム～防災について楽しく学ぼう～（大阪府総務部危機管理課共同）	共同	2023年5月	いばらき×立命館DAY2023(立命館大学主催)	
Introduction to Gaming Simulation for Community Disaster Prevention	単独	2023年6月	“Webinar on Gaming Simulation for Development Planning” for governmental staff of Indonesia	Toyoda Yusuke
Introduction to the SDGs	単独	2023年8月	“One day visit program to Ritsumeikan University, OIC” participated by undergraduate students of Beijing University of Posts and Telecommunications	Toyoda Yusuke
ガス管万華鏡と防災マップを作ろう！（大阪ガスネットワーク×立命館大学）	共同	2023年8月		
Introduction to Gaming Simulation for Community Disaster Prevention	単独	2023年9月	Workshop on Gaming Simulation for Development Planning	Toyoda Yusuke
Earthquake and Tsunami: Lessons Leant from Japan (20230914)’ & ‘Gaming Simulation: Tool for Climate and Disaster Resilience (20230921)’	共同	2023年9月	Climate and Disaster Resilience (course provided for undergraduate students at Chulalongkorn University)	Toyoda Yusuke and Puntita Tanwattana
防災釣りゲーム	共同	2023年11月	第73回高知大学黒潮祭（高知大学主催；参加者：主に子ども）高知大学朝倉キャンパス、高知	
防災釣りゲーム	共同	2023年11月	2023年度棧橋三丁目東地区・棧橋四丁目東地区町内合同防災祭り（棧橋通三丁目東地区・棧橋通四丁目東地区；参加者：主に子ども）仲田公園、高知	
京都の災害・防災の課題を知る・体験する	単独	2023年11月	京都府立朱雀高等学校 令和5年度 第2学年 総合的な探究の時間 防災フィールドワーク	Toyoda Yusuke

防災釣りゲーム（大阪府池田土木事務所 共同）	共同	2023年11月	神崎川流域合同防災訓練、豊中 市立グリーンスポーツセンター、 大阪	
---------------------------	----	----------	---	--

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	Best Article Award for AJI Journal of 2022 (Gold)	Factors Contributing to Community-Based Disaster Risk Reduction for Foreign Residents in Japan	2023年5月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	狭間 惠三子

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
『瀬戸内国際芸術祭と地域創生—現代アートと交流がひらく未来』	単著	2023年11月	学芸出版社	狭間惠三子	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「伝統産業における後継者育成の取り組みと課題—堺市における刃物産業を事例に—」	単独	2023年11月	日本地域経済学会 第35回全国大会	狭間惠三子

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
地域資源を活かしたまちづくり	単独	2023年2月	内外情勢調査会 群馬県桐生支部	狭間惠三子
地域資源を活かしたまちづくり	単独	2023年4月	内外情勢調査会 長野県松本支部	狭間惠三子



## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	花岡 和聖

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Investigating Empirical Validity of Heterolocalism: Focusing on Turkish Residential Patterns in Aichi Prefecture. In: Ishikawa, Y. (eds) Japanese Population Geographies II. SpringerBriefs in Population Studies	共著	2023年6月	Springer, Singapore	Takeshita, S., Hanaoka, K. and Ishikawa, Y.	1-16

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
小規模外国人集団へのヘテロローカリズム論の適用可能性に関する検討 —アフガニスタン人・ラオス人・ボリビア人の事例—	共著	2023年9月	愛知学院大学人間文化研究所紀要38	竹下修子・花岡和聖・石川義孝	83-104

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Mobile phone big data analysis and the COVID-19 pandemic	単独	2023年9月	The People. Policy. Place Seminars Series at the Northern Institute, Charles Darwin University	Hanaoka, K.
A dashboard application to explore population distribution derived from GPS location data during the COVID-19 pandemic in Kyoto, Japan	共同	2023年8月	The 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Todd, J., Yano, K. and Hanaoka, K.
Development of a Japanese 'GIS place name dictionary' as a basis for interdisciplinary research	共同	2023年8月	The 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Yano, K., Hanaoka, K., Kamata, R., Shiode, N and Shiode, S.
Spatio-temporal Visualization of Urban Population Using Spatial Big Data: A Case Study of Kyoto City during the COVID-19 Pandemic	共同	2023年7月	The Symposium on Spatiotemporal Data Science	Yano, K. and Hanaoka, K., Todd, J.

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 （西暦可）	発表会議名	発表者名
地理学の先生からきく「こどもの性被害を防ぐための地理学的な対策の重要性」	共同	2023年8月	地理学の先生から学び、「地域の安全安心マップ」を作る（株式会社アイシンと立命館大学の共同研究イベント）	花岡和聖・米島万有子

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	平尾 和洋

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
令和4年度 南丹市民家調査報告書-南丹市域における茅葺系民家の実数把握と調査カルテによるデータ分析―	共著	2023年3月	歴史都市防災研究所		
和東の茶業景観 文化的景観保護推進事業調査報告編	分担執筆	2023年7月	和東町		

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
日本の漁村集落空間に関する類型的把握－全国的視点と北近畿地方における事例調査から－	共著	2023年2月	日本建築学会技術報告集第29巻(第71号)	川田泰歩, 平尾和洋, 大場修	378-383
亀岡駅南城下町地区の町並修景と防火力向上に向けた予備的考察	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集vol.17	大場修, 平尾和洋, 藤木大真	245-250
京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためのケーススタディー	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集vol.17	平尾和洋, 西岡里美	113-120

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察	共同	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第63号計画系、pp.250-253	
京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためにケーススタディー	共同	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第63号計画系、pp.189-192	
民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察－1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析－	共同	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第63号計画系、pp.153-156	
民家の付属屋配置と規模に関する定量的考察－岩手・宮城・群馬・鳥取各県農家と併列型・二棟系の配置図を用いた分析－	共同	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第63号計画系、pp.149-152	
亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その2	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.1039-1040	
京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためにケーススタディー	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.465-466	

亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その1	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.1037-1038	
民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察その2-1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析-	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.31-32	
民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察その1-1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析-	共同	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.29-30	

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	特命教授	深川 良一

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Intensified sediment disasters in Japan -The 2011 Kii Peninsula torrential rain disasters -	共著	2023年11月	CRC Press	◎ Prof. Fukagawa, Editor Prof. Mitamura Prof. Nabeshima Prof. Okajima Prof. Hioki	pp.ix-iv, 1-33, 125-148, 169-189

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
浮き上がり限界モーメントを超える場合の2方向偏心作用における剛体基礎の接地圧分布簡便計算法の提案	共著	2023年11月	地盤工学会関西支部関西ジオシンポジウム 2023 論文集	◎植田謙三、 <u>深川良一</u>	6頁

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
地盤災害グループ 歴防20年の歩み	単独	2023年7月	歴史都市防災シンポジウム	深川良一
激化する土砂災害と斜面崩壊予測の試み	単独	2023年8月	立命館プレスセミナー	深川良一
土砂災害	単独	2023年9月	聖泉大学：防災論講義	深川良一
地球温暖化と激化する土砂災害	単独	2023年10月	環境技術学会第23回年次大会 講演会特別講演	深川良一
土砂災害	単独	2023年10月	2023年度防災士養成講座：聖泉大学びわ湖東北部地域連携協議会	深川良一
土砂災害	単独	2023年11月	令和5年度京都府防災士養成研修	深川良一
土砂災害と対策	単独	2023年12月	2023年度滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養成講座：滋賀県庁	深川良一
土砂災害	単独	2024年1月	令和5年度京都府防災士養成研修	深川良一

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部電気電子工学科	准教授	福水 洋平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Noise Reduction Method based on Wavelet Decomposition for Real-time Processing of Biological Sound Separation for Disease Precaution System	共著	2024年3月	Proc. 2024 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	Sougo Miura, Yosuke Nakamura, Hiroto Nakashima, and Yohei Fukumizu	to appear

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Noise Reduction Method based on Wavelet Decomposition for Real-time Processing of Biological Sound Separation for Disease Precaution System	共同	2024年3月	2024 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	Sougo Miura, Yosuke Nakamura, Hiroto Nakashima, and Yohei Fukumizu

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
陸自ヘリ事故 消息絶つ前のヘリ映像を解析	単独	2023年4月	ニュースウオッチ9	
クレムリンに無人機 映像解析で見えたのは	単独	2023年5月	ニュースウオッチ9	

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
二次元コード、生成装置、読取装置、及び、コンピュータプログラム		道関隆国、福水洋平、見澤淳一、木村健太郎	特願 2021-127832	特開 2023-22772	7253749	日本

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	福山 智子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
微破壊電気化学的手法(自然電位・分極抵抗)	単著	2023年3月	非破壊検査72(3)	福山智子	
電気化学ノイズ法によるコンクリート中の各種鋼材の腐食進展把握	共著	2023年3月	Japan Cement Association セメント・コンクリート論文集76(1)	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨	
導電性の異なるセメントペースト複合体における繰返し載荷に対する発電応答	共著	2023年3月	Japan Cement Association セメント・コンクリート論文集76(1)	福山智子, 金侖美, 生野孝	220-228
セメント系材料の載荷に伴う発電現象に対する遷移帯の影響	共著	2023年3月	Japan Cement Association セメント・コンクリート論文集76(1)	福山智子, 金侖美, 生野孝	229-237
Quality of Lamination Structure Made by 3D Printing under Different Lamination Conditions	共著	2023年7月	Proceedings of BEI-2023	Yuji Yamada, Tomoko Fukuyama, Yunmi Kim, Hiroharu Kamada, Dhruva N. Katpady	35-38

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
電気インピーダンストモグラフィの測定電極数低減に向けた電流注入パターンの検討	共同	2023年9月	第84回応用物理学会秋季学術講演会	皆川 敬哉, 金子 怜司, 乙出将, 太田 慧吾, 小松 裕明, 福山 智子, 生野 孝

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
メタバースを活用したハザード・マップの高度化に向けた実践的取り組み～iHazard map project～	共著	2023年5月	AIデータサイエンス論文集, 4巻2号	原田 紹臣, 藤本 将光, 里深 好文, 水山 高久, 松井 保, 武井 千雅子	102-113
土壌構造発達が森林斜面の降雨浸透と斜面安定性に及ぼす影響の数値解析	共著	2023年5月	砂防学会誌 第76巻第1号	林 祐妃, 小杉賢一朗, 藤本将光, 水山高久	3-10
透過性を有するブロック積砂防堰堤の捕捉機能に関する基礎的な研究	共著	2023年7月	砂防学会誌 第76巻第2号	原田紹臣, 藤本将光, 中村達也, 里深好文, 水山高久	11-18
デジタル技術（DX）活用による効率的な砂防関係施設の維持管理に求められる評価手法拡充の提案	共著	2023年9月	砂防学会誌 第76巻第3号	原田紹臣, 藤本将光, 里深好文, 水山高久, 松井保	34-41
タンクモデルのパラメータ同定を目的とした斜面内雨水浸透挙動の考察	共著	2023年1月	第49回岩盤力学に関するシンポジウム講演集	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤本将光, 山口弘誠, 岸田 潔	48-52
Impact of Displacement Behavior and Groundwater Level Change on Slope Failure Intitiation Due To Rainfall	共著	2023年11月	The 13th international conference on geotechnique, Construction Materias & Environment	Xin Qin, Masamitsu Fujimoto and Yoshifumi Fukasato	
斜面内体積含水率の推定結果に対するタンクモデル構造の影響についての考察	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤原照幸, 藤本将光, 岸田潔	45-50
ブロック積み砂防堰堤の機能性に関する実験的検討	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	中村達也, 藤本将光, 原田紹臣, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広, 里深好文	87-91
細粒土砂を含む土石流と掃流状集合流動の堆積に関する実験的研究	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	榊原颯輝, 藤本将光, 里深好文	208-213
盛土における網状鉄筋挿入工による圧縮補強効果の高度化に関する基礎的な実験	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	原田紹臣, 疋田信晴, 小西成治, 藤本将光	226-231

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
変形地盤上におけるブロック積砂防堰堤の屈撓性能に関する基礎的な実験	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	原田紹臣, 里深好文, 藤本将光, 中村達也, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広
細粒土砂を含む土石流・掃流状集合流動の堆積現象に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	榊原颯輝, 里深好文, 藤本将光
洪水氾濫発生地における輪中堤の減災効果に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	安田大輝, 里深好文, 藤本将光



降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	覃馨, 里深好文, 藤本将光
土砂・洪水氾濫に対する霞堤の減災効果に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	辻川愛, 里深好文, 藤本将光
遊砂地を用いた土砂・洪水氾濫対策に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	竹下耕樹, 里深好文, 藤本将光
鎖を用いた新たな流木対策工に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	浦長瀬大世, 里深好文, 藤本将光
網状鉄筋挿入工の杭設置条件が水平耐力に与える影響	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	藤本将光, 青山智哉, 原田紹臣, 里深好文, 小西成治, 疋田信晴, 吉永憲次
木造家屋の壁の浸水による被害に関する実験的検討	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	大島康輔, 里深好文, 藤本将光, 遠藤直久
先行降雨の有無が斜面崩壊現象に与える影響に関する実験的検討	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	石坂陽太, 藤本将光, QIN xin, 西村翔太, 水野仁, 里深好文
深層学習を用いた土砂災害発生雨量の予測に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	高尾宗志, 藤本将光, 里深好文
土層の透水性が斜面崩壊現象に及ぼす影響	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	水野仁, 藤本将光, 菅原大祐, 西村翔太, 里深好文
地形改変と土砂流出予測に関する研究	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	大知俊介, 里深好文, 藤本将光
コンクリートブロック積み砂防堰堤の機能性に関する実験的検討	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	中村達也, 藤本将光, 里深好文, 原田紹臣, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広
体積含水率を用いた土壌雨量指数のパラメータ同定の正規化による手法	共同	2023年5月	第72回R5年度砂防学会研究発表会	林祐妃, 藤本将光, 宮崎祐輔, 小山倫史, 岸田潔, 里深好文

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益社団法人土木学会 構造工学小委員会 AI・データサイエンス 論文集編集小委員会	デジタルツイン奨励賞	メタバースを活用したハザード・マップの高度化に向けた実践的取り組み～iHazard map project～	2023年6月6日

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	本間 睦朗

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
電力供給面での京都市田の字地区のスマートシティ化に関する取組－日射量シミュレーションと太陽光パネルの発電量の推定－	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集17	福本真史、本間睦朗	161-168
夜間景観における「京都らしさ」の定量化の検討	単著	2023年7月	歴史都市防災論文集17	本間睦朗	55-60

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
建築光環境における設計様式に関する研究	単著	2023年9月	照明学会全国大会	本間睦朗
建築における光環境設計と建築様式の関係に関する研究	単著	2023年9月	日本建築学会学術講演会	本間睦朗
電力供給面から考察する京都市田の字地区のスマートシティ化に関する取組Rhincerosを活用した日射量シミュレーションと太陽光パネルの発電量の推定	共著	2023年9月	日本建築学会学術講演会	福本真史、本間睦朗
自動角度制御ブラインドを有する窓の光環境シミュレーションに関する研究－IESファイル形式による配光データ作成の検討－	共著	2023年9月	日本建築学会学術講演会	高部航南、本間睦朗

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	村中 亮夫

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
安全安心マップ作成を通じた子どもの防災・安全教育の実践—第16回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト事業報告—	共著	2023年3月	京都歴史災害研究(24)	村中亮夫・花岡和聖	29-37
身近な地域の災害文化—地理教育における活用の視点—	単著	2023年4月	地歴・公民科資料 ChiReKo(2023年1 学期号)	村中亮夫	8-11

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	持田 泰秀

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
伝統木造建築の修繕工事に関する研究－多様な継手加工と応急処理修繕材料の活用への提案－	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所 歴史都市防災論文集 Vol. 17	猪口朝加、持田泰秀	1-8
ポリウレタ塗装による木部材の構造性能向上に関する実験的研究	共著	2023年11月	第15回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集	持田泰秀、小原愛美	18-25

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
海浜型大型地下駐車場の劣化調査結果に関する考察	共同	2023年9月	日本建築学会学術講演会	持田泰秀、難波清孝
PCa工法と在来工法のコンクリート表層性能の違いに関する研究その1 強度発現日における設計基準強度とセメントの違いによる影響	共同	2023年9月	日本建築学会学術講演会	山田和輝、猪股史也、持田泰秀、坂田博史
電気比抵抗を用いた場所打ち杭のスライムに関する研究 4種類の泥水による室内実験を通して	共同	2023年9月	日本建築学会学術講演会	眞庭颯大、持田泰秀
電気比抵抗を用いた場所打ち杭のスライム処理の品質管理に関する研究 特殊ポンプとベントリープラントを用いた事例を通して	共同	2023年9月	日本建築学会学術講演会	村松凌太、持田泰秀、酒井幸雄、藤井敬次
木材継手の加工法による構造性能の違いに関する実験的研究	共同	2023年9月	日本建築学会学術講演会	猪口朝加、持田泰秀、船戸慶輔、宮田桂
ポリウレタ塗装による木部材の構造性能の向上に関する実験的研究	共同	2023年9月	日本建築学会学術講演会	小原愛美、持田泰秀、大井高三
Study on Quality Control of Slime Treatment of Driven-in-place Piles Using Electrical Resistivity -through a Case Study Using a Special Pump and a Bentley Plant	共同	2023年12月	International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management (IEEM)	Muramatsu ryota, Mochida yasuhide

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
令和5年石川県能登地方を震源とする地震による加賀屋被災調査	共同		2024年1月～ 2024年3月
大規模車両製造工場の立案設計	共同		2023年1月～ 2024年3月

令和4年の奥能登を震源とする地震の建物被害調査	共同		2023年5月～ 2024年3月
総合大学施設の長期保全計画の立案	共同		2023年4月～ 2024年3月
海浜型大規模地下駐車場の劣化調査	共同		2022年4月～ 2023年3月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
時空間情報（4次元情報）	分担執筆	2023年1月	丸善出版	日本地理学会編『地理学事典』	660-661
地理がわかれば世界がわかる！すごすぎる地理の図鑑	共著	2023年5月	KADOKAWA		
地図・時空間情報	分担執筆	2023年7月	丸善出版	日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』	364-367
歴史都市京都の地域の知を蓄積・発信するバーチャル京都	分担執筆	2024年1月	古今書院	古今書院『地域学 地域を可視化し、地域を創る』	144-155

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
景観写真のデジタルアーカイブと活用方法	共著	2023年2月	日本画像学会誌 62 (1)		23-24
京都の歴史を GIS で読む	単著	2023年5月	地図情報 165		8-12
日本学術会議による地名問題の取り組み	共著	2023年11月	古今書院地理 68 (11)	高木彰彦・矢野桂司	12-21
ジオデモグラフィクスからみた将来空き家の都市圏比較	共著	2023年11月	都市計画論文集 58 (2), 153-160 58 (2)	上杉昌也, 上村要司, 矢野桂司	153-160
第31回国際地図学会議・第19回国際地図学協会総会（南アフリカ共和国・ケープタウン市）参加報告	共著	2023年11月	デジタルアーカイブ学会誌 7 (S2)	北本朝展, 高橋彰, 矢野桂司, 佐藤弘隆, 河角直美, 西村陽子	130-133
[C21] メモリーグラフ：同一構図撮影を支援するカメラアプリによるフィールドワークの展開	共著	2024年1月	地図 64 (1)	伊藤香織ほか7名	130-133

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Old Maps Online: Portal site, Map Warper and WebGIS	単独	2023年3月	NCC Next Generation Japanese Studies Librarian Workshop	Keiji Yano
Integrating cultural resources on Virtual Kyoto: maps, photos and films from the past	単独	2023年3月	Tools of the Trade: The Way Forward	Keiji Yano
Geodemographic Characteristics of Vacant Houses in the Resale Detached Housing Market of Kansai Metropolitan Area	共同	2023年3月	The 2023 American Association of Geographers, Annual Meeting	Yoji Kamimura, Shinya Uesugi and Keiji Yano

Extending Japanese Old Maps Online: GIS based Japanese gazetteer	単独	2023年4月	Colloquium of Center for Geographic Analysis, Harvard University	Keiji Yano
Spatio-temporal Visualization of Urban Population Using Spatial Big Data: A Case Study of Kyoto City during the COVID-19 Pandemic	共同	2023年7月	The Symposium on Spatiotemporal Data Science	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka and James Todd
Development of a Japanese 'GIS place name dictionary' as a basis for interdisciplinary research	共同	2023年8月	the 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka, Ryo Kamata, Narushige Shiode and Shino Shiode
A dashboard application to explore population distribution derived from GPS location data during the COVID-19 pandemic in Kyoto, Japan	共同	2023年8月	the 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	James Todd, Keiji Yano and Kazumasa Hanaoka
歴史災害復原へ向けた時空間情報の可視化—発掘調査データベースを用いたデータ駆動型研究の実践	共同	2023年10月	地理情報システム学会第32回学術研究発表大会(2023年)	武内樹治・矢野桂司

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史文化都市、バーチャル京都を学ぶ	単独	2023年9月	並木グループ9月例会	矢野桂司

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
公益社団法人都市住宅学会	2023年都市住宅学会賞・論文賞	論文:「ひとり親世帯の公営住宅団地の地域選択における傾向」(『都市住宅学』116号掲載)	2023年12月

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
TACTICAL REDUCTION OF BRIDGES: IMPACT OF A COST REDUCTION PLAN ON RESIDENTS' TRAVEL TIME	共著		IRSPSD International International Review for Spatial Planning and Sustainable Developm IRSPSD International	Nozomi Araki, Satoshi Yamada, Tatsuya Sekiguchi	掲載決定段階
文化財保全のための教材および支援システムの開発に関する研究	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所 歴史都市防災論文集 17	荒井勇哉, 山田悟史	169-176
樹木配置条件による緑視率期待値の図化および数式化－ GPGPU を援用したモンテカルロシミュレーションに基づく樹木配置計画指標の作成－	共著	2023年9月	日本建築学会日本建築学会計画系論文集 88 (811)	藤井健史, 山田悟史	2636-2642
ラダリング法を参考にしたワークショップにおける意見相互の参照関係の把握－ネットワークグラフを応用した分析方法の提案－	共著	2024年2月	日本建築学会日本建築学会計画系論文集 89 (816)	寶珍宏元, 山田悟史, 武田史朗	掲載決定段階

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
深層学習を用いたコンテンツ生成 AI との共創プロセスにおける中動態	共同	2023年3月	建築情報学生レビュー 2022, 2023.3, 建築情報学会	原田真衣, 山田悟史
カーフベンディング加工を用いたポースな木造円柱の開発に関する研究	共同	2023年3月	建築情報学生レビュー 2022, 2023.3, 建築情報学会	荒井勇哉, 山田悟史
Figital Temple – コモンコミュニティグラウンドと情報のマテリアル化 –	共同	2023年3月	建築情報学生レビュー 2022, 2023.3, 建築情報学会	小泉彰也, 山田悟史
現実空間と MR 空間の接続感に関する心理的評価	共同	2023年3月	建築情報学生レビュー 2022, 2023.3, 建築情報学会	東田陽樹, 山田悟史
リカレント型ネットワークを用いた未来予測による自動車走行中の異常検知	共同	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会 研究報告集, pp.137-140, 2023.6, 日本建築学会	中野雄大, 山田悟史
カリキュラム強化学習を用いたドローン点検に関する研究 コの字型壁面に対する経路生成	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（建築社会システム）, pp.143-144, 2023.9, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
カーフベンディングにおけるスリットパターンと変形性能の関係性－ MDF 板材の板材のデジタルファブリケーション加工を例に－	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（建築計画）, pp.561-562, 2023.9, 日本建築学会	荒井勇哉, 山田悟史



リカレント型ネットワークを用いた未来予測による自動車走行中の異常検知	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（情報システム技術），pp.127-128, 2023.9, 日本建築学会	中野雄大, 山田悟史
深層学習を用いたコンテンツ生成 AI との共創プロセスにおける中動態	共同	2023年9月	日本建築学会大会学（関西）学術講演梗概集（情報システム技術），pp.139-140, 2023.9, 日本建築学会	原田真衣, 酒谷粹将, 山田悟史
写真と文章に対する深層学習を用いたブリッカー賞受賞者の類似性	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（情報システム技術），pp.141-142, 2023.9, 日本建築学会	谷川奈央, 山田悟史
MR 空間における同室感に空間の個別性と認知度が与える影響	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（情報システム技術），pp.173-174, 2023.9, 日本建築学会	東田陽樹, 山田悟史
ヒートマップを用いたアニメーション映画における監督ごとの色彩傾向の差異の分析	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（情報システム技術），pp.179-180, 2023.9, 日本建築学会	古山大成, 山田悟史
モンテカルロシミュレーションによる緑視率期待値線図の作成	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（情報システム技術），pp.235-236, 2023.9, 日本建築学会	藤井健史, 山田悟史
Breathing Design System を用いた空間生成 - 建築とユーザーのインタラクションにおけるマテリアル検討 -	共同	2023年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演会梗概集（デザイン発表会），pp.386-387, 2023.9, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史
批評文からとらえる建築家像の類似性 - 近現代建築を対象に -	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.13-16, 2023.12, 日本建築学会	谷川奈央, 越智広樹, 山田悟史
視野角によって異なる視認速度の把握	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.17-20, 2023.12, 日本建築学会	本城真輝, 山田悟史
VR 空間における解像度と空間認知の関係性	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.21-24, 2023.12, 日本建築学会	KIM Joonyoung, 山田悟史
剛体に対してカーブベンディングを施したヨシムラ円筒の剛性	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.301-304, 2023.12, 日本建築学会	荒井勇哉, 山田悟史
現実とリンクしたメタバースにおける行動とコミュニティの分析	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.127-130, 2023.12, 日本建築学会	小泉彰也, 山田悟史
モビリティ特性を生かした新たな設計手法の提案	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.317-318, 2023.12, 日本建築学会	米光陸, 山田悟史
デザイン検討におけるコンテンツ生成 AI の利用による創発の類型的考察	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.321-322, 2023.12, 日本建築学会	大本和尚, 山田悟史

瞬時に組み立て可能な空間を構築する可動システムの提案－住空間での利活用の検討－	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.319-320, 2023.12, 日本建築学会	大島佳奈子, 山田悟史
多様な街路における自動車走行中の異常検知に関する研究－リカレント型ネットワークによる未来予測を用いて－	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.392-395, 2023.12, 日本建築学会	中野雄大, 山田悟史
曖昧な印象を内包する空間画像をクエリとする音楽レコメンドの提案	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.396-399, 2023.12, 日本建築学会	石橋京, 山田悟史
色対比効果を考慮した画像の色彩知覚の分析手法の提案	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.400-404, 2023.12, 日本建築学会	古山大成, 山田悟史
強化学習を用いた複数の建築物に対するドローン点検経路の自動生成	共同	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.388-391, 2023.12, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
グラスルーツプロジェクト「STEAM教育としてのBKC HACK」の一環としてBKC祭に電腦漣漪（れんい）を出展	共同	グラスルーツプロジェクト「STEAM教育としてのBKC HACK」の一環として立命館大学びわこくさつキャンパスの学園祭「BKC祭」にプロジェクトンマッピング技術を利用した「電腦漣漪（れんい）」を出展した。	2023年4月
MINAKUSA こだわりマルシェへの出展	共同	CAD/CG演習2022で制作したデジタルファブリケーション型段ボール家具+αを5月27日に南草津駅の西口で開催された「MINAKUSA こだわりマルシェ」に出展した。	2023年5月
建築情報学会 短期集中型ワークショップ Fes 2023 開催	共同	6月9日から16日かけて建築情報学会 短期集中型ワークショップ Fes 2023を開催し、建築情報を軸に様々な背景をもつ参加者が建築や情報について考えアウトプットする機会の創出を試みた。本研究室からも数名が参加し、作品を制作した。	2023年6月
滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろば「本とアイス」に本棚を出展	共同	滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろばでのイベント「本とアイス」内で、本の展示や交換によって本を紹介しあう「公園で本を広げよう！」プログラム（みなくさまちライブラリー）に自作された円錐型のダンボール本棚を出店	2023年8月
デジタルチャンバラを滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろばで共催	共同	滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろばでプロジェクトンマッピングを利用したチャンバラ「デジタルチャンバラ」の体験会を実施した。	2023年9月

立命館大学 BKC ウェルカムデーにて理工学部ブース「モノ作り最先端の体験」を出展	共同	立命館大学 BKC ウェルカムデー 理工学部ブース「モノ作り最先端の体験」にて、VR 体験等のブースを出展した。	2023年11月
建築情報学会 主催シンポジウム「コンテンツ生成 AI からみる建築情報学」を開催	共同	建築情報学会 主催シンポジウム「コンテンツ生成 AI からみる建築情報学」を開催した。また、第三部「AI と建築情報技術ビジネス」にて司会を担当した。	2023年11月
情報シンポ 2023（日本建築学会 第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム）を開催	共同		2023年12月

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
建築情報学：Architectural Informatics	共同	2023年7月	インドのニッテ大学 NMAMIT, Nitte 大学訪問	山田悟史
建築情報学における認知科学	単独	2023年7月	第46回認知科学研究センター定例研究会	山田悟史
建築情報学：Architectural Informatics	共同	2023年11月	立命館 super science high school japan 大学訪問	山田悟史
人と AI の共創	単独	2023年12月	情報シンポ 2023（日本建築学会第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム）基調講演 PD（話題提供とモデレータ）	山田悟史

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	山本 理佳

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
地理学事典	分担執筆	2023年1月	丸善出版	日本地理学会編	40-41、466-467
文化遺産といかに向き合うのかー「対話的モデル」から考える持続可能な未来ー	共訳	2023年3月	ミネルヴァ書房	ロドニー・ハリソン（木村至聖・田中英資・平井健文・森嶋俊行・山本理佳 共訳）	83-114、141-172

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
COVID-19 以後の観光研究における時間地理学／リズム分析の意義と可能性	単著	2023年3月	観光学術学会観光学評論 11（1）	山本理佳	61-72

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
観光と文化遺産ーリスクになりうる／リスクを回避しうる観光ー	単独	2023年12月	立命館大学土曜講座	山本理佳

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
曲線部材で構成されたユニット耐力壁の性能指定設計手法	共著	2023.5	日本建築学会，構造系論文集，No.807	北地水砂騎，嶋田陽大，吉富信太	pp.768-775
伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強効果に関する検証実験	共著	2023.7	立命館大学歴史都市防災研究所，歴史都市防災論文集，第17巻	中治弘行，須田達，吉富信太，鈴木祥之，閻崇兵	pp.31-38
京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	共著	2023.7	立命館大学歴史都市防災研究所，歴史都市防災論文集，第17巻	井上斐文，吉富信太	pp.47-54

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	共同	2023.7	日本建築学会大会（近畿）	山本康央，吉富信太
CLTの折板構造の構造性能へ設計パラメータが及ぼす影響分析に基づく問題構造の把握	共同	2023.7	日本建築学会大会（近畿）	井川快斗，吉富信太
地震時の建物被害の広域推定のためのニューラルネットワークを用いた応答予測および	共同	2023.7	日本建築学会大会（近畿）	李睿原，佐田貴浩，吉富信太
伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強に関する実験研究	共同	2023.7	日本建築学会大会（近畿）	中治弘行，須田達，吉富信太，鈴木祥之，閻崇兵
京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	共同	2023.7	日本建築学会大会（近畿）	井上斐文，吉富信太
引きボルト接合を用いた木質中層ラーメン構造における設計支援のための性能の把握と決定法	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	太田大貴，吉富信太
曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の性能指定設計手法の提案および実験による検証	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	吉富信太，北地水砂騎
小幅パネルを用いた格子状CLT耐震壁の提案および性能推定法	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	星山和輝，吉富信太
京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	井上斐文，吉富信太
伝統木造建物の実大振動台実験の振動計測データに基づく応答解析モデルの構築	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	中本蒼馬，吉富信太，向坊恭介

建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本康央, 吉富信太
CLT 折板構造の構造性能へ設計パラメータが及ぼす影響分析に基づく問題構造の把握	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	井川快斗, 吉富信太
地震時の建物被害の広域推定のためのニューラルネットワークを用いた応答予測および影響要因分析	共同	2023.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	李睿原, 佐田貴浩, 吉富信太
Application of power algorithm optimization for optimal placement of BRB in 3D shear wall frame building structure	共同	2023.6	SBE2023	Hamid Nikzad, Shinta Yoshitomi
Optimal placement method of outrigger with BRB in a core wall system structure	共同	2023.8	COMPDYN 2023 9th ECCOMAS Thematic Conference on Computational Methods in Structural Dynamics and Earthquake Engineering	Hamid Nikzad, Shinta Yoshitomi

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	准教授	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Desafíos y posibilidades de las comunidades académicas de peruanos en el exterior	単独	2023年3月	V Encuentro de Investigadores Peruanos en Japón	
Los caminos y su valor como Patrimonio Cultural: Un estudio comparativo de los caminos prehispánicos en el distrito de La Molina (Lima, Perú) y los caminos históricos del pueblo de Iide (Yamagata, Japón)	共同	2023年5月	XXXV Congreso CANELA	
Diáspora entre Perú y Japón: Nuevas perspectivas y posibilidades para la diplomacia científica	単独	2023年8月	Simposio Internacional "Nuevas perspectivas sobre la inmigración transnacional entre Perú y Japón"	
Arqueología Pública y Patrimonio Cultural: Los desafíos actuales para la arqueología peruana	単独	2023年9月	IX Coloquio Internacional de Arqueología	
Una breve introducción a la diplomacia científica	単独	2023年9月	I Foro de Docentes e Investigadores Peruanos en Japón	
ヘリテージとレジリエンス—ペルーと日本における考古・歴史遺産の現代活用—	単独	2023年11月	公開シンポジウム「学際的視点から人類のレジリエンスを捉え直す」	
「パブリック考古学と地方自治体—ペルーリマ市における地方自治体との協働にともなう問題とその対策」	単独	2023年12月	古代アメリカ学会第28回研究大会・総会	

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所	准教授	SHAKYA Lata

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, International training course 2022	共編者（共編著者）	2023年2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Lata SHAKYA, Aya MIYAZAKI, Min Lee, Dowon KIM, Rohit JIGYASU	
Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage: Practices of ITC Participants	共編者（共編著者）	2023年6月	Routledge	Rohit Jigyasu, Dowon Kim, Lata Shakya	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
歴史的な仏教僧院における災害時の利活用—ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 Vol.17（17）	サキヤ ラタ・白野 裕之・田川 龍・大窪 健之・金 度源	241-248

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management (DRM) of Cultural Heritage (CH): Our Progress and Challenges Towards New Normal	共同	2023年3月	6th Global Summit of GADRI: Engaging Sciences with Action	Lata Shakya, Takeyuki Okubo, Dowon Kim
歴史的な仏教僧院における災害時の利活用—ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共同	2023年7月	歴史都市防災シンポジウム	サキヤ ラタ、白野 裕之、田川 龍、大窪 健之、金 度源
Lessons Learned from the Post-Disaster Response of the 2015 Gorkha Earthquake: case studies of three different communities in Nepal	単独	2023年9月	The 13th International Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management	Lata Shakya
ネパール・パタン旧市街の歴史的資源および伝統的管理システムに関する実態調査—2015年ゴルカ地震後の災害対応と被災建物の復旧を中心に—	共同	2024年1月	文化遺産国際協力コンソーシアム 第44回東南アジア・南アジア分科会	サキヤ ラタ、浅田なつみ



講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
The Role of Intangible Cultural Heritage for Sustainable Historic cities-Newar's Traditional Craft and Dwelling Culture of Craftsman	単独	2023年2月	The 1st International Symposium Research on ICH Contributing to SDGs: Intangible Cultural Heritage for Sustainable Cities and Communities	Lata Shakya
Heritage Values of Buddhist Monasteries and Imperative of Safeguarding	単独	2023年8月	14th NEAJ Symposium on current and future technology, 2023	Lata Shakya
Integrating Intangible Cultural Heritage (ICH) into Disaster Risk Management (DRM) of Cultural Heritage	単独	2023年8月	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2023	Lata Shakya
Baha Bahi Survey Outcomes	単独	2023年10月	A seminar on outcomes of the survey on Bahabahi of Patan	lata shakya
Disaster Memory and Disaster Mitigation Planning of Bu Baha Neighborhood	単独	2023年10月	a workshop on disaster mitigation planning by local community	lata shakya
Disaster Risk Management for Cultural Heritage in Asia-Pacific Region - Current State and Issues (3): Disaster Mitigation and Preparedness for Resilience Building <sup>1)</sup>	単独	2023年12月	ACCU International Symposium for Senior Professionals 2023	lata shakya

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	宮崎 彩

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共編者（共編著者）	2023年2月	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所		
国際的な文化遺産防災研修の変遷について	単著	2023年7月	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所 歴史都市防災論文集17		
安全安心マップ作成を通じた子どもの防災・安全教育の実践 ―第17回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト事業報告―	共著	2024年2月	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所 京都歴史災害研究（25）	宮崎彩、李敏、花岡和聖、村中亮夫	
Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共編者（共編著者）	2024年2月	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所		

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
国際的な文化遺産防災研修の変遷について	単独	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
Conservation, Disaster Risk, and Management Plan for Janjevo, Kosovo	共同	Kosovo	2023年6月～ 2023年10月

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Case of Japanese Cultural Heritage Conservation	単独	2023年3月	Asian cities, culture and heritage	Aya Miyazaki
メキシコの歴史と国民意識形成における文化遺産の影響力について	単独	2023年5月	ラテンアメリカ・カリブ海地域の社会・経済・文化などを教授する総合教養科目	宮崎彩
メキシコの歴史と国民意識形成における文化遺産の影響力について	単独	2023年5月	ラテンアメリカ・カリブ海地域の社会・経済・文化などを教授する総合教養科目	宮崎彩
文化遺産は誰のためにどう守るべきか～アカデミアと現実世界を行き来しながら答えを探す生き方のススメ?～	単独	2023年6月		宮崎彩
6 Cultural Heritage Conservation Mechanism at UNESCO	共同	2023年7月	Initial training for community representatives of NGOs/CSOs	
Disaster Imagination Game (DIG) for Cultural Heritage in Janjevo, Kosovo	共同	2023年7月	Workshop for Conservation and Management of the Historical Center in Janjevë/Janjevo	
About the Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University	共同	2023年11月	Workshop on risk reduction strategies in cultural heritage affected by disasters due to climate change	
世界遺産の未来と課題	共同	2023年12月	世界遺産シンポジウム～世界遺産のある街 姫路が求められる未来～	

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	李 敏

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
A Fire Prevention Measure for Disaster Prevention Planning Based on Resident Conditions and Community Characteristics in Preserved Historic Districts/Village in Japan	共著	2023年11月	International Journal of Architectural Heritage	Min Li, Yuji Hasemi, Wakako Tanaka, Yuna Nozoe, Minoru Nagasawa	doi.org/10.1080/15583058.2023.2276177
Disaster Risk Management of Cultural Heritage: A Global Scale Analysis of Characteristics, Multiple Hazards, and Issues Based on Historical Disasters and Current DRR Measures in World Heritage Sites	単著	2024年3月（予定）	Journal of Cultural Heritage	Min Li	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
世界遺産における災害リスクと災害危機管理計画に関する研究 その1 世界遺産対象文献調査による災害リスクの特徴と災害事例の把握と課題の抽出	単独	2023年5月	地域安全学会梗概集（横浜）	李敏
安全安心マップ作成を通じた防災力向上と課題——「第17回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——	共同	2023年12月（予定）	京都歴史災害研究	宮崎彩, 李敏, 村中亮夫, 花岡和聖
世界文化遺産における災害リスクと災害危機管理計画に関する研究 その2 世界遺産対象アンケート調査による災害リスクの特徴と災害事例の把握と課題の特定	共同	2024年3月（予定）	日本建築学会大会	李敏, 宮崎彩, Shakya Lata, 金度源, 大窪健之

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	補助研究員	白石 陽子

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
セーフコミュニティをまち育てに活用～行政事業における位置づけと役割～	単独	2023年2月	2022年度 セーフコミュニティ研修会	白石陽子
新指標によるセーフコミュニティの進め方	単独	2023年10月	2023年度 セーフコミュニティ研修会	白石陽子
日本版セーフコミュニティ～国際版との比較～	単独	2024年1月	2023年度 セーフコミュニティ定例会	白石陽子

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
セーフコミュニティ 政策アドバイザー	単独	亀岡市	2011年4月～現在

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
より安心・安全なまちづくりに向けて	単独	2023年1月	松原市セーフコミュニティ研修会	白石陽子
さらに安全・安心なまちにむけて～セーフコミュニティでまち育て～	単独	2023年2月	松原市セーフコミュニティ防災対策委員会	白石陽子
セーフコミュニティ 国内認証 ～亀岡市の位置づけと役割～	単独	2023年2月	亀岡市セーフコミュニティ推進協議会	白石陽子
市民協働によるセーフコミュニティ(ワークショップ)	単独	2023年3月	久留米市セーフコミュニティ合同対策委員会	白石陽子
セーフコミュニティ～振り返りと進め方～	単独	2023年3月	さいたま市セーフコミュニティ合同対策委員会	白石陽子
さらに安全・安心なまちにむけて～セーフコミュニティでまち育て～	単独	2023年5月	郡山市セーフコミュニティ合同対策委員会	白石陽子
根拠に基づいたまち育て	単独	2023年9月	阪南大学付属阪南高校	白石陽子
根拠に基づいたまち育て～科学的アプローチで秩父市を住みたいまちに育てる～	単独	2023年7月	秩父市セーフコミュニティ対策委員会	白石陽子
セーフコミュニティでまち育て～科学的アプローチで行政の事業と地域の活動をつなげる～	単独	2023年7月	鹿児島市セーフコミュニティ事務局会議	白石陽子

## 研究業績書

対象期間	2023年1月1日～2024年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	補助研究員	林 祐妃

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
土壌構造発達が森林斜面の降雨浸透と斜面安定性に及ぼす影響の数値解析	共著	2023年5月	砂防学会誌	林祐妃・小杉賢一朗・藤本将光・水山高久	p.3-10

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
体積含水率を用いた土壌雨量指数のパラメータ同定の正規化による手法	共同	2023年5月	令和5年度（公社）砂防学会研究発表会	林祐妃・藤本将光・宮崎祐輔・小山倫史・岸田潔・里深好文